

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 I H I 回転機械エンジニアリング					
代表者名	氏名	川崎 義則	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	東京都江東区東雲一丁目7番12号					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	31 輸送用機械器具製造業				
主たる事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 船舶用過給機的设计・製造 大型コンプレッサー的设计・製造 油圧モータの製造 バイナリー発電装置的设计・製造 					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	k1	2,878	2,750	2,526	2,472	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,950	5,771	5,206	5,109	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	26		26	26	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	5				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～	2022 年度
------	----------	---------

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

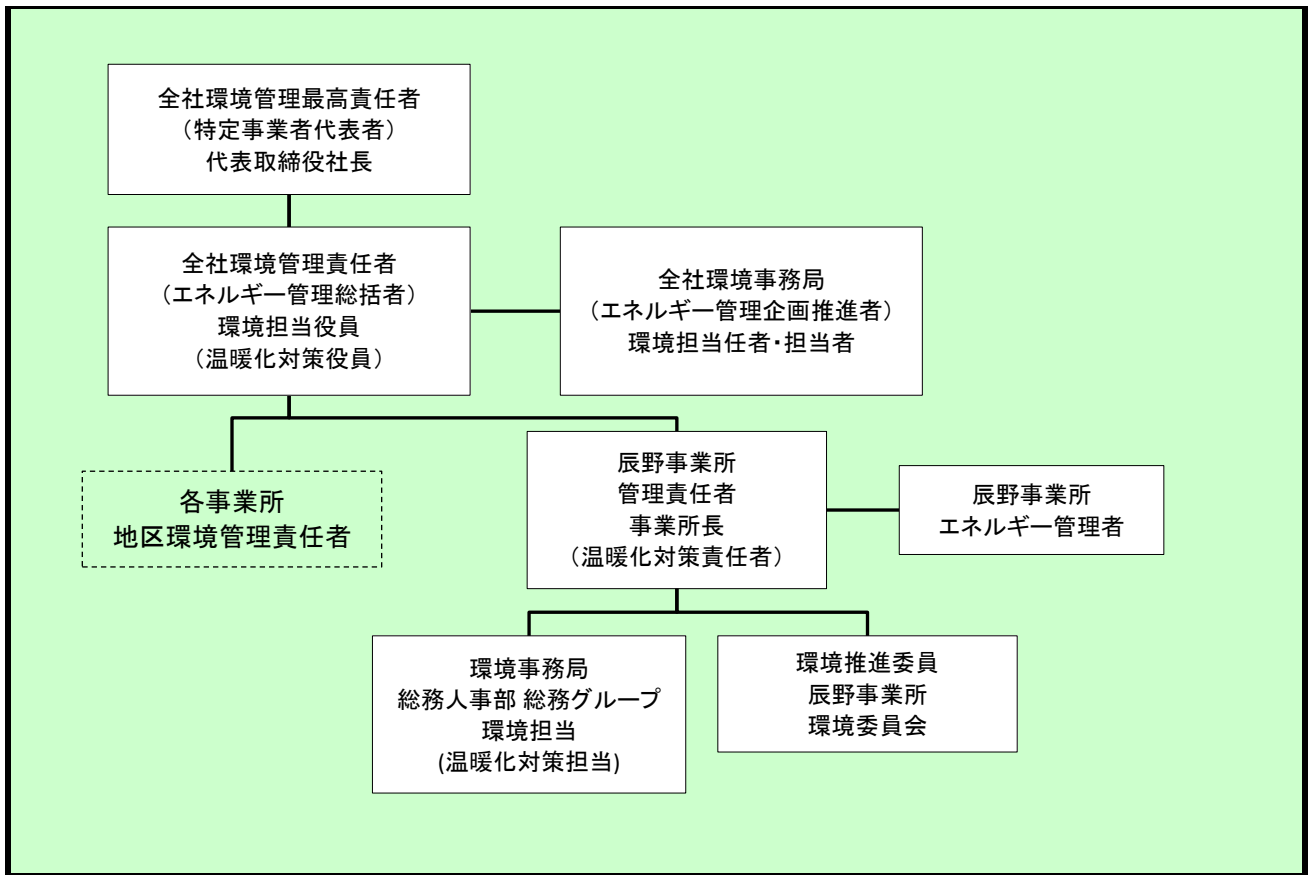
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	辰野事業所 総務人事部総務グループ 窓口において閲覧可能 閲覧可能日時 会社営業日 8:00～17:00（土日祝日、休業日を除く） 連絡先 電話番号：0266-41-5228 FAX：0266-41-3492
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

- 特定事業者として可能な限りエネルギー消費量の低減に取り組む。
- (1) 地球環境に配慮し、エネルギーの使用に伴い発生する二酸化炭素の排出量を削減するよう努める。
 - (2) 省エネ法を遵守し、使用エネルギーの低減に努める。
 - (3) エネルギーを消費する設備の運転及び保守並びに点検等に関して管理標準を設定し、運用する。
 - (4) 技術的・経済的に可能な範囲でエネルギー効率の高い設備の導入や更新に努める。
 - (5) 全社員に向けた省エネルギーに関する教育を実施する。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

全社では、1年に2回以上「全社環境委員会」を開催。

辰野事業所においては、「環境管理委員会」を3ヶ月毎に年間4回定例で開催。

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,950	t-CO ₂	操業時間	686.98	単位	千Hr
2019年度	調整後排出量	5,950	t-CO ₂	基準原単位	8.66	t-CO ₂ /	千Hr
目標年度	目標排出量	5,771	t-CO ₂	目標原単位	8.40	t-CO ₂ /	千Hr
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	省エネ法のエネルギー削減目標（前年度比1%削減）の達成を目指した活動を継続し二酸化炭素の排出量も毎年1%削減として、2022年度の「目標削減率」を3%に設定した。						
第一年度	排出量	5,206	t-CO ₂	操業時間	643.98	単位	千Hr
	削減率	12.50	%	原単位	8.08	t-CO ₂ /	千Hr
2020年度	調整後排出量	5,206	t-CO ₂	原単位削減率	6.69	%	
	削減率	12.50	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍でお客様立会のコンプレッサーの試験運転がリモート立会運転へ変わり試験運転の時間が短縮になった。 ・電力使用量 853kwh/年（前年度比 3.5%削減） ・冬季の暖房に使用する燃料(重油)を削減する施策(室温管理の徹底、暖房機の改善)を実施した。 ・重油の使用量 555kL/年（前年度比 17.8%削減） 						
第二年度	排出量	5,109	t-CO ₂	操業時間	598.64	単位	千Hr
	削減率	14.13	%	原単位	8.53	t-CO ₂ /	千Hr
2021年度	調整後排出量	5,109	t-CO ₂	原単位削減率	1.50	%	
	削減率	14.13	%				
排出量等の増減理由	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様立会のコンプレッサーの試験運転がリモート立会運転を継続して、試験運転の時間が短縮した結果、試験運転の電力使用量が前年度比13.0%(742kwh)減少。排出量削減に結び付いた。 ・船用過給機の開発試験運転の試験運転時間が減少し、燃焼ガス生成に使用する燃料(灯油)が前年度比33.3%(30,000L)減少。排出量を75t-CO₂削減。 						
第三年度	排出量		t-CO ₂	操業時間		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019 年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022 年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	360799	老朽化した圧縮機の更新	2020～ 2021	10	2020～ 2021	10
2	エネ起	329999	船用過給機試験運転用燃料LPG化に伴う黒煙除去装置の廃止	2020～ 2022	45	2021	5
3	エネ起	350699	老朽化した変電設備の更新	2020～ 2022	3	2020	2
4	エネ起	360799	工場エア配管のループ化・バイパス化	2020～ 2022	5		
5	エネ起	360702	圧縮機の排気熱の暖房利用	2020～ 2022	14		
6	エネ起	310300	空調温度管理用測定器の設置			2021	1
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	該当なし							
1,500k1以上 3,000k1未満	1	5,950	1	5,206	1	5,109		
1,500k1未満	該当なし							
合計	1	5,950	1	5,206	1	5,109		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂				
CH ₄				
N ₂ O				
HFC				
PFC				
SF ₆				
NF ₃				
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0	0	0	
電気自動車	0	0	0	
燃料電池自動車	0	0	0	
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	
その他 (ハイブリッド等)	3	3	3	
合計	3	3	3	0
自動車総数	26	26	26	
次世代車導入割合	11.5	11.5	11.5	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	主に県外へ出張する場合は、公共機関の利用を促進している。
自転車利用促進	近距離の場合について利用を推奨している。
来客者の交通対策	県外からの来客者は公共機関を推奨している。駅までの送迎を社有車(ハイブリッド車)でおこなっている。
物流の合理化	近隣の倉庫から更に近い倉庫に保管を進めている。移動距離を短くし運搬の頻度を削減する取組をしている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		実施年度
	実施内容		
<input type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		取得年 2000年
	名称	ISO14001:2015 環境マネジメントシステム	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	廃棄物削減, リサイクル活動, カーボンニュートラル施策検討		2021年

1.5 自由記載欄

<ul style="list-style-type: none"> 毎月、工場のエネルギー使用状況を取り纏めて各職場にデータを開示して省エネ改善に取り組んでいる。 環境負荷を低減する廃棄物の排出量削減、リサイクル活動を実施している。 社内において、環境保全に関する教育を実施している。 追加施策としてカーボンニュートラル実現のための中・長期計画の削減計画を作成した。
--